

## 6 月 号

令和5年6月27日発行

創立127周年

伊仙町立面縄小学校(86-2036)

「体験」がその後に及ぼす効果

面縄小 校長 石原 つぎ子

文部科学省が、令和2年度に「子供の頃の『体験』が、その後の成長に及ぼす効果」 {についての分析結果を発表しました。これまでにも『体験』と成長の関連性を検証した{ 調査研究はたくさんあり、『体験』が子供たちの健やかな成長に効果的であることは、 様々なところで言われてきました。この文部科学省の調査は、18年間の追跡調査、サ 『ンプル数2万以上という,画期的とも言える調査方法で行われました。

調査の結果は、これまで直感的に言われてきたことを裏付けるものでした。 研究結果の概要一

- −(1) 小学生の頃に体験活動(自然体験,社会体験,文化的体験)や読書,お手伝い。 を多くしていた子供は、その後、高校生の時に自尊感情(自分に対して肯定的、 自分に満足しているなど)や外向性(自分のことを活発だと思う),精神的な回 復力 (新しいことに興味を持つ,自分の感情を調整する,将来に対して前向きな ど)といった項目の得点が高くなる傾向が見られました。
- (2) 小学生の頃に異年齢(年上・年下)の人とよく遊んだり、自然の場所や空き地 路地などでよく遊んだりした経験のある高校生も上記と同様の傾向が見られまし
- (3) 経験した内容(体験活動や読書,遊び,お手伝い)によって影響が見られる意識 や時期が異なることから、一つの経験だけでなく、多様な経験をすることが必要 であるということも見えてきました。
- (4) 小学校の時に体験活動などをよくしていると、家庭の環境に関わらず、高校生 の時に自尊感情や外向性、精神的な回復力といった項目の得点が高くなる傾向が 見られました。

令和2年度 青少年の体験活動に関する調査研究 報告書 より

さて、6月は、6年生の修学旅行や5年生の宿泊学習がありまし た。これらも学校行事で行う体験活動です。

子供たちは、家庭や学校から離れた環境の中で、人や自然・文化 ・歴史にかかわる経験をたくさん行うことができました。これまで 机上でしか学習できなかったことを、直接触れたり実際に見聞きし 《たりして,知識や理解も深まったことと思います。さらに,自分自 身や日常の生活を客観的に見つめ直すこともでき、精神面での大き 《な成長が見られたように思います。

町も子供たちの体験活動を後押しするイベントをたくさん用意し ています。学校からチラシが配られていますので、子供たちが持ち ∛帰るプリント類は,よく読んでいただきたいと思います。第3日曜 『日に行われるクリーン作戦や親子チャレンジなども,体験活動の一 

また、ご家庭においても、読書やお手伝い、身体を動かす遊びな どをどんどんさせてほしいなと思います。





## 7月・8月の行事予定

はこぶっく来校 7月 5日(水) 学級PTA

7日(金) 面縄ぐんぐんデー

8日(土) 土曜授業日 七夕読書集会

20日(木) 終業式

23日(日) おもなわ読書の日

8月 1日 (火) 出校日

> 14日(月) 学校閉庁日 (16日まで)

21日(月) 出校日

23日(水) おもなわ読書の日

7月17日(日) 美ら海・美ら島大作戦



5年生 宿泊学習

5月31日~6月1日(与名間ビーチ)











6月1日に、4年生を対象に復帰70 周年に関する授業が行われました。講師 に上木久一さん、赤塚文子さんをお迎え して、当時の様子についてお話をしてい ただきました。今から想像もできないよ うなお話に、子供たちは食い入るように 聞き入っていました。





貴重なお話をありがとうございました。

## 6年生 修学旅行 6月12日~6月15日(沖縄)











思い出いっぱいの













行事が目白 押しでした。 学びがいっ ぱいの6月 でした。